令和７年６月２５日
我孫子市小中一貫教育だより
第３７５号

TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

我孫子市教育委員会　小中一貫教育推進室

我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

○「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
○確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
○自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども

布佐地区キャラクター
「ふさだ　だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

オリジナルカリキュラム「未来へつなぐプロジェクト」

湖北台西小学校の１年生で「いのち・こころ・からだ」の授業が行われました。小中９年間を通して、命の大切さについて学習する授業は全小中学校で実施しています。西小１年生では、「体の大切さや働き、男女の性差と人権について学び、自他を大切にする態度を養う」ことをねらいとした難しいテーマに挑んだ授業でした。

子ども達は元気よく担任からの発問に答えて和やかな雰囲気で授業は始まり、「今日は命に関わる働きをするところについて勉強する」ことが告げられて、学習課題「体の秘密を探検しよう！」が提示されました。男女がはっきりわかる身体部分についての名称を教えるとともに、どんな働きをするかを問いました。子どもたちからの回答を受け、担任から「命につながる場所」であることを伝え、全体でそれを唱和し、プライベートゾーンと呼ばれる大切なところであることを確認しました。「プライベートゾーンを守るってどんなこと？どうやって守る？」と大画面ＴＶには映し出されています。子ども達は個々に考えた後、グループで意見交換をしました。担任から「水着で隠れるところは人に見せたり触らせたりしない。」「触られて嫌な気持ちになったら、すぐに親や先生に言う。」ということを捕捉しました。子ども達が書いた振り返りには、本時の授業内容が理解できていることやねらいが達成できたことを感じさせる記載がされていました。

オリジナルカリキュラム　進路学習「キャリアプランニング」

白山中学校では、キャリア学習で繋ぐ白山中区の小中一貫教育９年間の集大成となる中学３年生のオリジナルカリキュラム授業実践がありました。本時は３時間計画のうちの２時間目にあたり、生徒たちは「キャリアプランニングをしてみよう」という本時の課題に取り組みました。個人で自分の将来について思考する時間と、協働的な学びの時間を通してそれぞれのキャリアプランニングを共有する時間を持ちました。

「あなたはどんな生活をしたいと思いますか？」という教師からの問いに「場所にとらわれない生活」「満員電車を使わない生活」「趣味の時間をしっかり確保できる生活」など生徒からは思い思いの人生観が発表されました。授業が進むにつれてより内容は具体的になり、「将来どのような職業について、どのように働きたいですか。」という発問には、将来の夢を思い描くと同時に、働き方についてもグループで話し合う場面がありました。自分の働き方やキャリアプランニングに将来の家族や家庭が関わることを話し合っているグループもありました。授業の終盤では、「プラン実現のために今すべきことはどんなことだろうか。」と今と将来を結び付けて考えてみようと教師からの新たな課題が出され、次回の授業でそれぞれの考えを共有することになりました。小学校から様々な授業で学んできた社会のこと、働き方、職業についての知識の活用や繋がりを意識した授業だと感じました。